

畜産

実況

1 平成28年度第3回石川・福井合同肉牛枝肉販売会（平成28年5月9日）

		頭数	単価 (円)	販売価格 (円)	枝肉重量 (kg)	BMS (No.)	ロース芯 面積 (cm ²)	上物率 (%)
去勢	福井	16	2,752	1,338,623	486.7	8.2	56.2	94
	全体	41	2,665	1,251,781	469.2	7.2	56.6	88
雌	福井	5	2,706	1,200,791	443.7	6.4	55.0	80
	全体	8	2,631	1,114,859	422.1	6.3	56.6	75

全体の最高価格は、1,501,984円、去勢牛(芳之国×肥後桜×美津照)、28.8カ月齢、A-5(BMSNo10)、枝肉重量598.4kg、ロース芯面積65cm²であり、出生地は石川県であった。福井の枝肉単価は、前回より、去勢で18円安く、雌で128円安かった。

2 平成28年度第4回石川・福井合同肉牛枝肉販売会（平成28年5月23日）

		頭数	単価 (円)	販売価格 (円)	枝肉重量 (kg)	BMS (No.)	ロース芯 面積 (cm ²)	上物率 (%)
去勢	福井	13	2,675	1,266,490	472.4	6.5	56.8	100
	全体	35	2,636	1,237,660	469.2	6.8	55.9	89
雌	福井	6	2,621	1,211,992	459.8	6.7	60.7	67
	全体	16	2,593	1,143,352	439.8	6.8	57.6	81

全体の最高価格は、1,516,985円、去勢牛(福栄×百合茂×安福久)、25.9カ月齢、A-5(BMSNo8)、枝肉重量530.6kg、ロース芯面積68cm²であり、出生地は福井県であった。福井の枝肉単価は、前回より、去勢で77円安く、雌で85円安かった。

対策

1 乳牛

近年、地球温暖化の影響と思われる異常気象により、夏前からの気温上昇も懸念されることから、従来に比べ早くからの暑熱対策が求められる。乳牛における暑熱対策は非常に重要であり、最高気温が24度以上になる5月末頃から対策が必要である。

(1) 牛舎環境対策

牛舎における対策で重要なことは、牛舎内の空気を外気と循環させることである。空気が入れ替わらないと、夜間になっても日中の暑い空気は水分とアンモニアなどを含んだまま牛舎内に残ることとなる。このため牛舎の片側の壁に送風機を設置し、空気を抜く、あるいは送ることにより強制的に換気を行うことが必要である。側面に送風機が設置されていない場合には、通路やストールの前後に送風機を設置し、空気の循環ができるようにする。

また、直射日光による温度の上昇を防ぐ方法として、牛舎の屋根に石灰を塗布したり、西日を抑制するために寒冷紗を設置すると効果がある。

(2) 飼養管理対策

牛への送風は頸部や肩に風が当たるようにする。夕方採食後から体温が上昇するため、夜間も引き続き送風することが重要である。

また、飼料給与では、粗飼料分析と飼料計算を必ず行い、良質な粗飼料の給与とともに、新鮮な水が十分飲めるように、ウォーターカップの掃除をこまめに行う。